



# 水稲情報 ～No.3～

2020年8月11日  
つくば地域農業改良普及センター  
つくば農業改良推進協議会  
TEL. 029-836-1109

いよいよ、稲刈りが  
はじまりますね！

◆「水稲情報」は郵送とメールで配布しています。配布文書の電子化（ペーパーレス化）を進めるにあたり、メールアドレスの登録にご協力をお願いいたします。 連絡先：tsunofu@pref.ibaraki.lg.jp

**\* 出穂期は平年より遅く、概ね前年並みです。**



## 1. 本年度の気象について

### 平均気温

4月は平年より低く、5月は平年並～やや高くなりました。6月は第5半旬で平年よりやや低くなり、それ以外は高くなりました。7月13日以降、気温の低い日が続きました。8月1日に梅雨明けし、気温の高い日が続いています。

### 日照時間

4月第4半旬、5月第4～5半旬は平年より少なくなり、それ以外は平年並～多くなりました。

梅雨の間（6月11日～8月1日頃）、梅雨前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

### 降水量

4月は平年より多くなりました。5月第4半旬、6月第3半旬と6月第6半旬～7月第5半旬は平年より多くなりました。

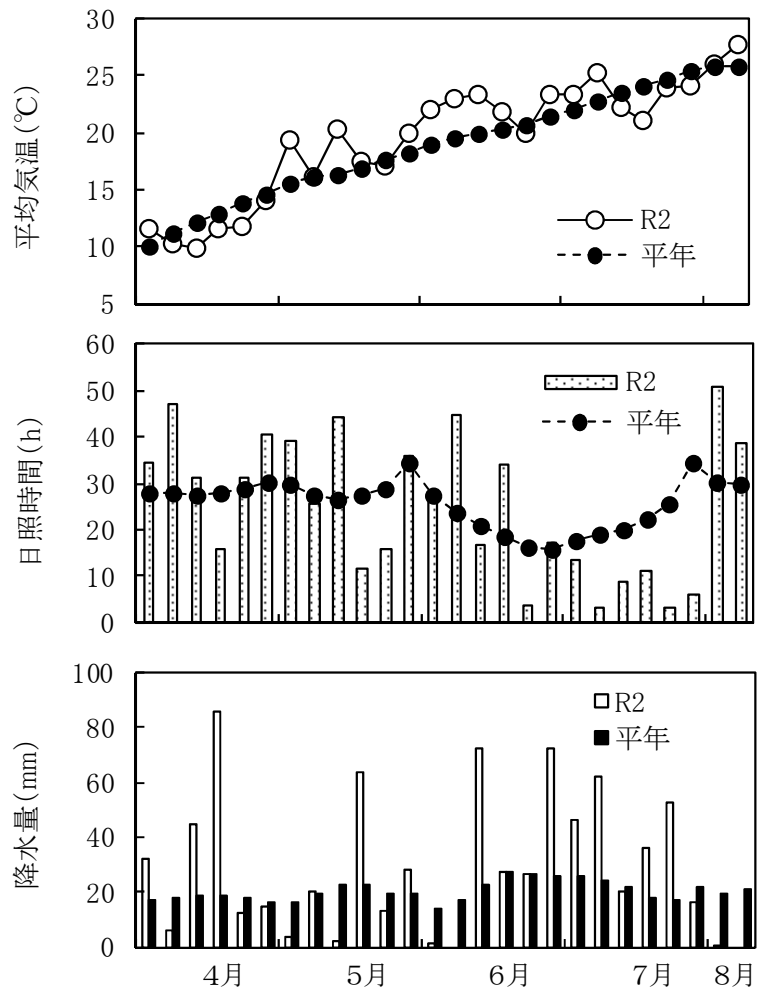


図 平均気温・日照時間・降水量

(令和2年つくば市館野のアメダスデータより)

## 2. 管内の水稻の出穂状況と収穫適期（予測）について

出穂期は平年とくらべ遅く、概ね前年並みとなりました。収穫適期も平年より遅れるとの予測です。ただし、8月1日の梅雨明け以降は、高い気温で推移しているため、収穫適期は予測値より早まる可能性がありますので、注意してください。

調査地点	品種		田植日	出穂期	収穫適期 (※予測値)	
つくば市上菅間	コシヒカリ	本年値	4/30	7/26	8/30～9/4	
		平年値	5/2	7/24	8/28～9/2	
つくば市今鹿島		本年値	5/1	7/24	8/28～9/2	
		平年値	5/1	7/24	8/28～9/2	
つくばみらい市中島		本年値	5/1	7/29	9/2～9/7	
		平年値	4/30	7/23	8/27～9/1	
守谷市野木崎		本年値	5/7	8/2	9/6～9/11	
つくばみらい市谷口		ふくまる	本年値	4/29	7/20	8/27～8/29
取手市高須		ふくまる (ふくまる SL)	本年値	5/5	7/23	8/30～9/1
利根町福木		ほしじるし	本年値	6/4	8/20 頃 (※予測値)	10月上旬
つくばみらい市豊体	月の光 (乾田直播)	本年値	4/8 播種	8/8 頃 (※予測値)	10月上旬	
つくば市泉	月の光	本年値	5/1	8/8 頃 (※予測値)	10月上旬	

※「出穂期」は穂が40～50%出る時期です。

※収穫適期は「コシヒカリ」の場合、出穂後35～40日、帯緑籾率10%頃から約5日間。「ふくまる」の場合、出穂後38～40日、帯緑籾率6～15%頃。「ほしじるし」・「月の光」は8月中旬出穂の場合、帯緑籾率が10%になるまで出穂期から45日程度かかります。

※飼料用米は、乾燥経費削減のための「立毛乾燥」を考慮し、成熟期後2週間～約1ヶ月後に刈り取りを遅らせましょう。(倒伏、穂発芽、鳥害等に注意しましょう。)

◆出典：普通作物栽培基準（含む、工芸作物）（平成29年3月 茨城県農業総合センター）

飼料作物栽培基準（平成31年3月 茨城県農業総合センター）

### 3. 収穫後には、健全な土づくりに努めましょう！

- (1) 根張りを良くするため、作土の深さを15cm以上確保しましょう。
- (2) 稲ワラ等の有機物は、収穫直後の気温が高い時期に耕起して腐熟させましょう。  
収穫後すみやかに耕起を行うことにより、次年度の水田におけるガスの発生や、これに伴う初期分げつの抑制等を防ぐことが可能です。  
また近年、発生が懸念されている「イネ縞葉枯病」の耕種的防除にもつながります。
- (3) 堆きゅう肥の投入量は、地力に応じて設定しましょう。
- (4) 暗きょ排水の施工等により透水性を維持しましょう。



## 気象災害対策

# 台風の接近・通過にご注意ください！ ～水稻と大豆の台風被害防止対策～

### 水 稲

#### <事前対策>

- 1 排水路のつまり等がないか、点検しましょう。
- 2 大雨の前に十分減水したうえで、  
一定量以上の水かさになると落水する対策をとりましょう。



#### <事後対策>

- 1 冠水した圃場では、一刻も早く退水措置をとり、稲を水面上に露出させましょう。
- 2 水田に入った水は速やかに排水し、その後は間断かんがいを行いましょう。

### 大 豆

#### <事前対策>

- 1 圃場の明きょ・排水溝を点検するとともに、  
排水路の清掃・補修を行い、速やかに排水されるようにしましょう。



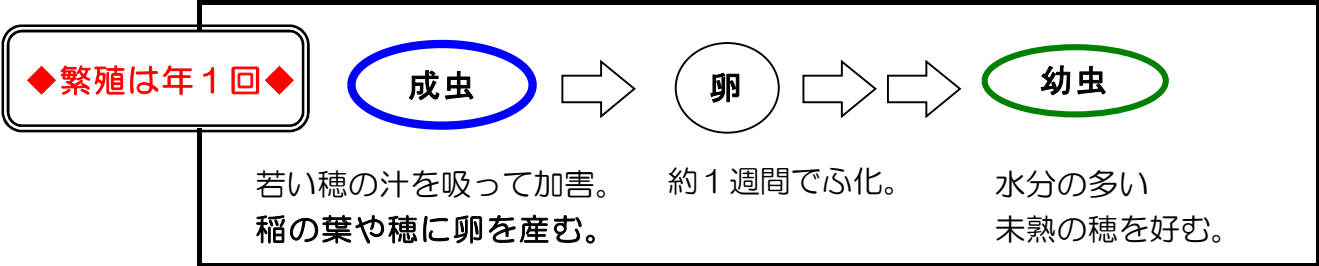
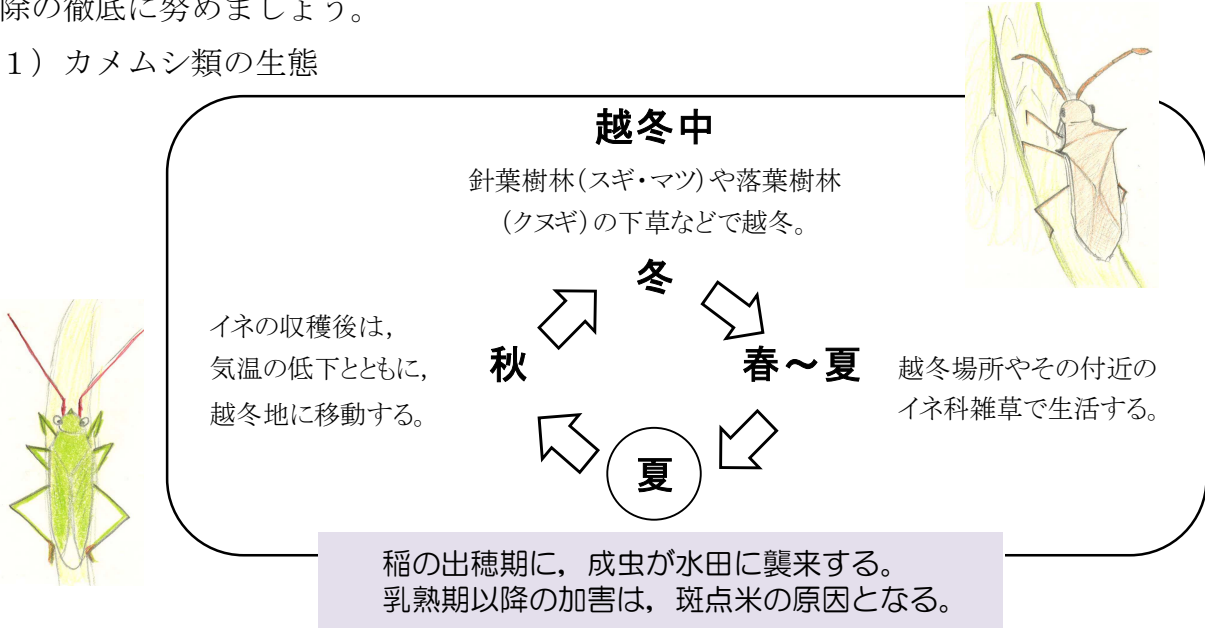
#### <事後対策>

- 1 速やかな排水に努めましょう。  
特に、水田に作付した大豆は、畦畔を切るなどして排水に努めましょう。
- 2 圃場の浸水により茎疫病等の発生が懸念されるため、防除対策に努めましょう。

#### 4. 斑点米カメムシ類の防除について

近年、カメムシ類による水稻の収量・品質の低下や穂発芽などが問題となっています。防除の徹底に努めましょう。

##### (1) カメムシ類の生態



##### (2) カメムシ類の防除対策

**対策1** 畦畔周りの草刈り ～畦畔雑草はカメムシの発生源になるので、出穂2週間前までに刈りましょう。

**対策2** 薬剤による防除 ～多発水田では、防除は2回実施しましょう。

- 1回目： 成虫の飛来期 (出穂期～穂ぞろい期)  
※穂ぞろい期に成虫を確認した場合は防除を実施しましょう。
- 2回目： 幼虫の発生初期 (出穂10～15日頃：乳熟期)  
※乳熟期以降の幼虫密度が高いと、斑点米の発生量が多くなることから、斑点米の発生を抑えるためには、この時期の幼虫密度を低下させることが重要です。



◇周辺より出穂の遅い水田では、周辺の水田で増殖した新成虫の飛来により密度が高まるがあるので注意しましょう。